

第3回 全員協議会会議録

令和7年6月26日(木)

委員会 議室

○会議日程

- 1 開会宣告(10時00分)
- 2 協議事項
(1) 幌延深地層研究計画推進の要望について
- 3 その他
・全道議員研修会の日程について
- 4 閉会宣告(10時19分)

○出席議員(8名)

議長	8番	西澤裕之
副議長	7番	齋賀弘孝
議員	1番	高橋秀明
議員	2番	佐藤忠志
議員	3番	深澤博幸
議員	4番	高橋秀之
議員	5番	植村敦
議員	6番	無量谷隆

○議会事務局出席者

事務局 長	岡田英樹
書記 係 長	藤田秀紀

西澤議長

ただいまより、第3回全員協議会を開催いたします。

本日の協議事項は「幌延深地層研究計画推進の要望について」ということで、今、皆さんにお配りしたのが要望の趣旨（案）ということでお配りをしております。

まず、経緯からお話ししますと、原子力研究の幌延深地層研究センターの所管であります文部科学省の副大臣に武部新代議士がなったということで、私たちが応援というか、ここから出ている出身の大臣が出たということで、私自身が1回御挨拶に行きたいなというふうに思っていました、町長が行くときに都合が合えば、この研究センターの問題もあるので御一緒できませんかというお話をしておりました。7月4日に、選挙告示には入っているんですけれども、調整がつかまして、行けるということになりました。

今各議員さんからも、常日頃から原子力研究施設、幌延深地層研究センターについては、何か動きがあるのかとか、町長に対しても、どういう動きになっているんだという話が常日頃ありました。そういう経緯がありましたので、せっかくといいですか、行けるのであれば町長と議長名で要望書を提出して、文書として残していた方がいいんじゃないかという話になりまして、この要望書も実は10年以上前に、350mから500に行くときに、なかなか動きがなくて、宮本町長と野々村議長で要望書を出して以来、10数年出していないのでという経緯もまた一つあります。ということで、一応、議決案件とかそういうことではなくて、議員の皆さんに行く前にお知らせをして、こういう趣旨で要望書を提出していきますということを御報告したいということで、今日、急きよでしたが、皆さんにはお集りをいただきました。

内容ですけれども、ここに書かれているとおり、特段、今までとそれ以上踏み込んだような発言はないんですけれども、その辺は、もちろん三者協定遵守するということと研究機関の研究期間内にきちんと研究をしてくれというようなところがあつての話になっています。ただ、継続という言葉があるので、その受け取りというところ言うと、切り抜かれて、いろんな受け取りがあるかなというふうには思いますけれども、一応、あくまでもこういう趣旨で要望してくるという内容になっていますので、御報告ということになっております。説明の方は以上です。

皆様から何か御意見があれば、お伺いします。

深澤議員

公でないよな。

西澤議長

全員協議会だから、議事録は残ります。

深澤議員

まあ、残ってもいいんだけどさ。

何もね、要望するのにさ、内容が変わってないのに行く自体も、ちょっと、俺、おかしいと思うし、行くのであれば、もっと議員さんに内容吟味してな、どうせ要望するんだったらさ、実のある要望してほしいっていう気はあるんだよな。こんな同じような形だった

ら行く必要もないと思うんだよ。まあ、今言っていた継続って話ししているけど、もう三者協定も遵守して埋め戻すということをはっきりと明言しているんだぞ、これ。それを何とか打開するために要望に行くんだったらまだしもだぞ、その経費使って同じようなことを行く必要あるのかというんだ。いや俺、個人的な意見なんだけど。少なくとも、行くんであればさ、議員さん皆さんの意見聞いてな、それを取りまとめて要望してほしいなっていう気もあるな。行くから皆さんに協議して云々って話じゃないでしょう、これ。

高橋秀明議員

私も全員協議会ということで、もしかして全員協議会会という名称は外れるかもしれないけれども、町長なり副町長なりが来ていて、説明をしながら、実はこういう話が原子力機構さんから来ているんだよと。そういう話があって、それを基にしてね、いろいろと議論をみんなでぶつけ合う場になるんじゃないかなと思って、ある意味、期待はしていたんですよ。そういうのもなくなって、深澤議員言うように、本当に意味があるのかどうかっていうのも同じような気持ちになっているんですけども。以上です。

西澤議長

ほかの議員の方、いらっしゃいますか。

植村議員

この要望に関しては様々な御意見あると思うんですけど、私としては、やはり、町の重大事業、懸案事項ということで、十数年、改まって要請をしていなかったっていうこと自体、私は怠慢ってまでは言わないですけども、町の熱意っていうんですか、そういう議会としても同じなんですけども、そういうものを、やっぱり、中央の人間としては本当に大丈夫かなというような気持ちになりかねないという。

昔は、以前、宮本町長がよく言っていた、反対派の声がもう随分来るんだけども、中央に来るんだけども、賛成派の声が全然来ないんだって、そして、いぶかしがってたっていうような話を何回も聞かされていました。あえて騒ぎ立てることではないということの判断で、十数年、改まって要請してなかったということだったと思うんですけども、やはり、こういうものっちゅうのは、定期的に要請・要望していくべきもんだと思います。

中身に関しては、私は、この段階で要請するということに関して、やっぱり、この程度でいいのかなというふうに思っております。

ぜひ、町としての熱意を、改めて、副大臣になられた武部新代議士に伝えて、それをつ周囲に拡散してもらいたいというふうに思ってますんで、よろしくお願いします。

(10時06分 無量谷議員入室)

西澤議長

ほか、発言ある議員の方いらっしゃいますか。

高橋秀之議員

私も植村議員が言ったとおりでと思うんですよ。

ただ、町の中でも、やっぱり、この問題、あと2年で終わって、その後どうなるのっていう声もたまに聞いて、いや、まだそれ私たちは分かんないんですけどって。今、もう2年しかないのに大丈夫なのっていう声も聞こえてくるんで、こういう要望をして、何か一

つでもその先が見えてくるような話になってこいばいいなと思うんで、この要望が行ったからって行って全て叶うわけでもないんで、だけど、やっぱり、幌延町として言いたいことは言ってきた方がいいんで、是非、行って要望出してきてもらえればと思いますけど。

西澤議長

ほか、発言のある議員の方いらっしゃいますか。

佐藤議員

一言くらい言わなきゃなんないんだろうけど。ただ、私も、やはり、議員になって、まだ浅いんですけど、一町民として、今までも何かは運動しているのかなと思ってはいて、今、これ今聞いたら、十年、前1回やったぐらいで、何もやってないんだなと。ただ、個人的には町長、議長、いろんな立場で、いろんな会合も出ているんだろうから、その場では、いろんな要請はしてるか分かんないですけど、やってんのかなと思って、昨日、これ来て、何すんのかなと思ってこの書類眺めてたけど、私は遅いんじゃないかなと思います。それと、やはり、行くんでしたら町長・議長、それにもう少し、ある程度誠意みせるんだったら何人かも付いて行って、形式的なものではなくて、やはり、それなりのしっかりとした熱意も見せていかないと、今、高橋秀之議員も言ったように、やっぱり、町民の中にも、おい、どうすんだ佐藤君って、俺も言われるけど、自分の立場で余計なこと言えないんで、いろいろと裏では次のものを継続して、何かしらは、やっぱり、やってるような形では、やっている、そういう話はしてます。だから、これはこれとしてね、今さら具体的なものを挙げてってお願いするものでもない。これで十分だと思いますけど、どうせやるんだったら、もう少し誠意を見せて、当然、町長はこれやらんならんの当たり前ですけど、町長がやらなきゃならんこと、当たり前です。ただ、そのほかに議員として、どういう我々の活動、やってるところを見ていくのか、議長だけでいいのか、副議長も行くのか、そこら辺も少し検討していただきたいなと思って、これを見ました。

無量谷議員

大変遅くなりまして、すみませんでした。

これ、原子力関係の高レベルっていうか、廃棄物処分場の研究施設っていうような感じで、幌延町誘致しましたけども、なかなか、前回も延長かけるときに、非常にせっぱ詰まってからでないと、なかなか判断つかなかったのかなという感じがするんですけども、今後、最終的に終わるとなると、全くないって言えないような状態になってくると。先ほどから皆さん言われてるように、町民がどうするんだと、やっぱり、やっとな幌延にも、こういう施設が幌延に貢献してるんだっていうことが分かってきて、もう、これなく無くなるということは、幌延がもう財源とかそういうものも無くなるのかって聞かれるんですけども、何かしら国の施策っていうものを幌延に引っ張ってこれれば幸いかなあという感じはするんですけど、なかなか、今んとこ見当たらないのかなあという感じです。だから、こういう要望だとか、定期的、あるいは非公式でもいいから接触して繋がりを持つのが幌延町の宿命でないかなとは思っています。以上です。

齋賀副議長

武部さんが副大臣になられたのが、最近じゃなくても、かなり前からだったから、もう

ちょっと前から町長とかは挨拶に行っているんだろうと思いますけど、今回、改めて議長、町長そろって行って、この幌延の、まさか、この要望の趣旨って書いて渡すわけではないと思うんで、きちんと題名があると思うんですけども、今回限りじゃなくて、次、また10月、11月に研究の発表会がありますよね、そのときにも行くとか、1回きりで終わらないで、定期的に行く機会を見つけて、行って、挨拶して、これは文書を渡して、文書以外の会話の中では、きっと、今、ほかの議員さんも言われたとおり研究は何らかの形でずっと続けていかれるような話もしてくれるんだろうなというふうに思っています。私はこれ、いいと思いますんで、ぜひ、よろしくお願いしますと思います。

西澤議長

はい、ありがとうございます。

高橋秀之議員

これ、文部科学省だけ。機構さんには行かないの。

西澤議長

はい、質問がありましたので。機構東京事務所の方にも、今、調整をして、行けるタイミングがあれば理事長とお会いできるようにアポ取りをしております。

各議員の皆さんの御意見を聞きまして、皆さんの思いを背負って会っていきたいと思います。

ところどころ出ておりましたけれども、要望の趣旨ということで、皆さんに案としてお示しをしておりますけれども、きちんとした形の報告を武部さんにしてきた後は、どういうことをしてきたかっていうことも、資料も含めて皆さんに、また、御報告を兼ねてお知らせしたいというふうに思いますので、取りあえず、これは要望の趣旨の案ということで皆さんにお渡ししましたけれども、これ、一回、ちょっと回収させてもらいまして、きちんと正式なものを、こういうものをやってきましたということで、皆さんに、また、御報告をしたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

4日にお会いできることになっていますので、3日に行きます。

ありがとうございます。

その他ということで、事務局の方から。

岡田事務局長

その他ということで、全道議員研修会、7月8、9日で全道議員研修会あるんですけども、こちらの案内文書、日程表を皆さんにお渡ししております。

7月8日、6時半、役場出発ということで、バスの方は、みやび観光のバスで、途中、休憩はさみまして、11時20分ぐらいに厚別の屯田でお昼御飯食べて、12時40分ぐらいに札幌コンベンションセンターに到着できるように考えております。そして、13時から16時半まで研修会を行った後、コンベンションセンター出発して、17時にホテルに到着しまして、17時45分から夕食。夕食は去年と同じお店、予約はしております。

9日なんですけれども、次の日は8時半にホテル出発しまして、赤平の炭鉱遺産ガイダンス施設というところで視察をしたいと思います。大体、1時間ぐらい視察時間を見ております。そのあとちょっと、11時10分から30分程度なんですけども、赤平の鞆のい

たがきという本店がありまして、そこに、ちょっと寄っていこうかと思っています。そして12時にお昼御飯として松尾ジンギスカン本店予約してあります。昼御飯を食べまして、13時に出発して、途中、道の駅で2回休憩はさみまして、17時に役場到着予定となっております。

西澤議長

あとは、札幌、全道議員研修まで、皆さんお集まりいただくことが基本的にないので、この日程で動きたいというふうに思いますので、皆さん、御承知のほど、よろしくお願いをいたします。

岡田事務局長

7月8日なんですけれども、6時半出発ですので、6時25分までに役場に集合をお願いしたいと思います。あと、下の方に書いているんですけども、下の米印で、6時25分までに役場に集合をお願いします。あと、当日の服装なんですけれども、開催要領にはナチュラルビズでの参加推奨ということですので、普通のクールビズでもいいですし、あとポロシャツとか軽装でも大丈夫ですので、ここは、皆さんに、自由にお任せします。

西澤議長

ということですので、服装は皆さんにお任せするということです。

(「スーツでもいいのか。」の声あり)

ネクタイでもいいですし。

(「バッチしなくてもいいのか。」の声あり)

ポロシャツでも、はい。その際は、あれですかね、手帳か何か携帯した方が。

それでいいということだと思います。

ほか、ございますか。何か。大丈夫でしょうか。

(「ありません。」の声あり)

それでは、急きょ、お集りいただきました第3回の全員協議会、これで終了したいと思います。

本日は、お疲れさまでした。

(10時19分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

議 長 西 澤 裕 之

書記係長 藤 田 秀 紀